

第46回墨東五区バスケットボール大会
7/19(日)足立区総合スポーツセンター
足立区 対 江戸川区 戦評

墨東五区大会の最終日の最終戦。今大会の優勝チームが決まる試合となる。

第1ピリオド、両チーム共にハーフコートマンツーマンディフェンスで挑む。開始直後から足立区#20のバスケットカウントを皮切りに、#11との連続でシュートを沈めていく。江戸川区も各選手それぞれが、ミドルシュートを中心に応戦する。21-19で第1ピリオド終了。

第2ピリオド、始まりから江戸川区#3と#12のシュートが好調で逆転。その後は互いに譲らず、パスをよく回しながら相手ディフェンスのマークを上手く外して得点を重ねる。47-44 足立区リードで前半を終える。

第3ピリオド、後半に入り両チーム共、シュートの精度が落ちてくる。そんな中、足立区は執拗なディフェンスと速い攻撃からのレイアップシュートで立て続けに得点を決め、13点差をつける。江戸川区は選手交代やタイムアウトで流れを変えようと試みるが、攻めきれない。結果、71-57で最終ピリオドへ。

第4ピリオド、江戸川区はここぞとばかり#2のポストを軸に得点を詰めていく。足立区も流れを渡さないようにと#9がゲームをコントロール。すると、徐々に足立区の早い攻めに、江戸川区ディフェンスの対応が遅れ始める。江戸川#5の度々のスリーで応戦するも、なかなか点差は縮まらず、99-79で試合終了。

見事、足立区は全勝で優勝を飾った。